



サポーター会通信

サポーター会通信第16号 発行日 令和7年5月25日

新年度に当たって

会長 佐藤 賢一

いつも会の運営にご協力いただき有難うございます。

昨年6月、史跡研究部会の中心となって運営されてきた早川允生さんがご逝去されました。ここに永年のご尽力に感謝を申し上げる次第です。いろいろ模索してきたのですが、残されたメンバーでの活動を維持することは難しいと判断し、今回史跡研究部会については、休会の決断を致しました。今年度は保存継承研究部会とまちづくり研究部会の二部会体制での活動となります。

三つが二つになった訳ですが、やはり寂しいものがあります。ただ廃部とはしないで、休部と致しました。不動産の世界で「居抜き」という言葉があります。どなたか志のある方が新し

いテーマを掲げて活動を始めたいときには、すぐに活用が可能です。

3年前「養成講座 Part2」を始めた時には、「新しいメンバーのために新しい部会が必要になるのでは」と余計な妄想をしました。今回は、より切実なものがあります。強者（つわもの）が現れて、あらたな動きを見せてくれることを期待しております。

文化財課では狩野先生が学校現場に戻られて、新たに小野洋平先生が担当して頂けることになりました。また新たな環境のなかで活動ができることを楽しみにしております。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

静寂な時間

小山 祐子

平成9年に地底の森ミュージアムの文化財研究員として1年間の研修後、ボランティアになりました。ボランティアガイドを始めた頃、まだ説明もたどたどしかった頃のこと。60才くらいの女性にガイドを頼まれました。地下の展示場は、2万年前の旧石器時代の人が残した生活の跡と氷河期の森の跡が見られるので、倒木、たき火跡、謎の穴、鹿の糞などの説明をしました。物静かな女性で、館内は私の大きな声だけが響いていました。しばらくして、女性が突然「主人の遺品の中に石器があったので」とつぶやき、静かに話を始めました。ご主人が亡くなって1年くらい経って、ようやく遺品の整理をしたそうです。石器のことは、生前に聞いたことがなかったので、夫の想いを知りたくてここに来ましたとのこと。さすがの私も声が出なくて、館内は二人だけの静寂な時間が流れました。

ガイドをすることで、誰かの人生に深く関わることもあるのだと、思いました。30年近く経った今でも時々思い出します。

「稼ぐ文化財」とは？

文化財課長 長谷川 蔵人

文化財サポーター会の皆さまには、平素より文化財の魅力を伝える活動にご尽力いただき、心から厚く御礼申し上げます。さて、今回は珍しくリクエストを頂戴しました。リクエストをいただくのはいつでも嬉しいものですが、今回のお題はとりわけ思い入れが強いので、大変嬉しく感じております。

今のご時世、どこもそうですが、文化財課も予算が足りていません。やりたい・やらなければいけない事業はあるけれど、予算が増えないから現状維持が精一杯。チラシもパネルも手作り。収蔵庫の雨漏りも直せないまま。除草も十分に行えずクレームが来る始末。国の補助金もあてになりません。でも文化財課ではみんな「そんなもんだから…」と大人しく仕事をしていました。

私は文化財課に着任してすぐ、この状況に危機感を持ちました。今でも大変なのに、これから更に人口減少が進んでいったら、持続可能な未来が見えなかったからです。同時に、予算が無いなら自分たちで稼げばいい！という発想がすぐに浮かびました。これは私がデービッド・アトキンソン氏の著作を読んでいたからだと思います。

彼はゴールドマン・サックス社の金融アナリストでしたが、日本の伝統文化に魅了され、高給を投げうって来日。今は文化財修繕会社を経営する傍ら、政府の有識者会議のメンバーを務めるなど、日本の観光・経済・文化財の発展に向けた提言をしている方です。彼は著書で、日本経済の再生にはインバウンドを伸ばすことが死活的に重要であり、そのカギは文化財の活用にある、と主張しています。以前、観光の部署にいた私は、外国人観

光客が日本の歴史文化に魅かれることを知っていましたから、彼の主張はすんなり理解できましたし、文化財は「稼ぐ」ポテンシャルを有していることも疑いませんでした。

就任してすぐ、それまでやり取りが少なかった市の観光部署との連携強化に着手し、合同勉強会や懇親会を開催しました。また、課内でも稼ぐ文化財検討プロジェクトチームを立ち上げ、アイデアを出し合いました。仙台城石垣修復クラウドファンディングにも全力で取り組み、目標の2000万円を達成できました。実は、文化財サポーター養成講座も、受益者負担を少しだけないか検討しています。あの講座はそれだけ内容が素晴らしいのです。無料で受講できた皆さんはラッキーです（笑）やりたいことはまだまだあり、少しずつ実現していければと思っています。

文化財の世界は「昔のまま」や「変わらない」が大事にされます。しかし今はものすごいスピードで社会が変化します。そのような時代にあって、素晴らしい仙台の文化財を私たちの子どもや孫の世代まで守り伝えていくため、これからも「変わる」ことを恐れずに取り組んでいきたいと考えています。ご意見・ご感想などお寄せいただけたら励みになります。今後もサポーター会の皆さんと一緒に文化財の魅力を伝える活動に取り組めるのを楽しみにしております。

注 デービッド・アトキンソン

在日英国人経営者 小西美術工芸社社長
一般社団法人社寺建造物美術保存協会代表理事
京都国際観光大使 二条城特別顧問 他
(ウィキペディアより)

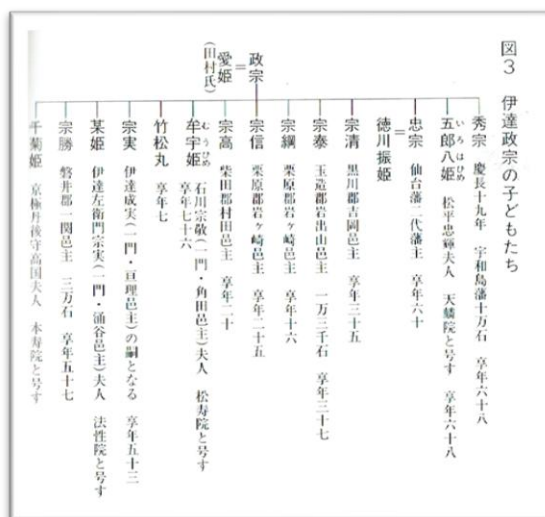
西館・五郎八姫・天麟院

文化財保存継承研究部会 峯岸 義雅

松島にある天麟院は私の菩提寺です。天麟院は仙台六十二万石の藩主、伊達政宗の長女・五郎八姫（イロハ）が開基した臨済宗妙心寺派の寺院です。五郎八姫は文禄三年（1594）六月生まれで、慶長十一年（1606）に徳川家康の六男、松平忠輝と結婚したが故あって離縁して伊達家江戸屋敷に戻り、元和六年（1620）仙台城二の丸、近くの西屋敷に住み、約十六年間過ごしたが、寛永十三年（1636）政宗の死後、青葉区下愛子の茂庭綱元の屋敷を譲り受け、それ以降五郎八姫の仮御殿として別荘的な性格を持つように利用され西屋敷と称した。五郎八姫が離縁後、住んでいた西屋敷の所在が仙台城二の丸か、下愛子の栗生か、郷土史家研究者の間で長年論議されてきたが、平成六年（1994）東北大埋蔵文化財調査センターが、仙台城二の丸の西館屋敷を発掘した際、庭園跡・畑跡の遺構が検出され、西館の謎が解明された。また先般、角田市郷土資料館が刊行した「牟宇姫」への手紙、五郎八姫編で、角田石川家に嫁いだ伊達政宗の次女、牟宇姫と五郎八姫との手紙四十七通を調査解読した結果、すべて仙台城二の丸近くの西館で書かれたことが判明し、姫が四十数年間過ごした西館の謎が立証されました。寛文元年（1661）五月、六十八歳の波瀾に富む生涯を仙台城二の丸西館で閉じました。天麟院の檀家として歴史ある寺院を誇りとして、これからも文化財として崇拝し継承し活用してゆきたいものです。



仙台市史・地域誌及び仙台市博物館収蔵資料から



旧仙台藩領キリシタン殉教遺跡巡礼

文化財保存継承研究部会 菊地 遵

サポーター会の皆さまは、約四百年前奥州地区現在の宮城県登米市東和町から岩手県一関藤沢町にかけて400人以上のキリシタン達が棄教に応じず凄惨な拷問の末に処刑され殉教したことをご存じでしょうか。

慶長16年(1611)キリスト教禁止令の中、伊達政宗がフランシスコ会神父ルイス・ソテロを仙台に招き布教を許可したことから始まり、慶長18年(1613)ソテロと支倉常長が慶長遣欧使節団として出帆、ローマ教皇パウロ5世に謁見となりました。しかし徳川幕府の圧力により仙台藩もキリシタン捕縛により迫害と惨殺による殉教の歴史を作ることとなります。

キリシタン達が殉教した場所は

①宮城県登米市東和町米川

海無沢(かいなしさわ) 三経塚(さんきょうづか)の切捨場霊場において隠れキリシタン120名が手と足に五寸釘を打たれ、磔や打首などの処刑が行われました。

(次ページへ続く)

②岩手県一関市藤沢町大籠（おおかご）地区

大籠地区一帯を「大籠キリシタン殉教公園」と整備しています。近くに唯一処刑場として残っている「地蔵の辻」や「首実験石」（監視役人がこの石に座り、地蔵の辻で行われるキリシタンの処刑を監視したといわれる石）などがあり308人のキリシタンが殉教しました。

奥州地区のキリシタン殉教者が多かったのは、当時伊達政宗のルイス・ソテロ神父との信頼関係から仙台領内のキリスト教布教を許した事と、「たたら製鉄製造」の一大拠点があった米川大籠地区の労働力の確保として全国から迫害を恐れた大勢のキリシタンの避難地として受け入れたことで、結果多くの殉教者を出してしまいました。

この奥州キリシタン殉教の史実は残念ながら全国的に知名度は高くありません。私達この地域に住む者として奥州地区の歴史を担った東北キリシタンの存在と殉教の歴史について知らなければならないと思いました。

＊殉教（キリスト教の信仰や道徳を捨てるよりも、死を選んで神に命を捧げること）

事務局だより

伊勢 昭一

☆ハンズフリー小型拡声器の活用について

研究部会からの要望もあり、役員会で議決し購入致しました。

<サンワダイレクトポータブル拡声器 10W(3,880円)>

- ・研究部会での現地調査(まち歩き等)
- ・小規模の会議・打合せ 等

事務局で保管していますので、活用したい方は連絡をお願いします。



☆緊急連絡先カードの作成

まち歩き等で外出する機会が多くなっています。

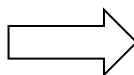
しかしながら、交通事故・熱中症・持病の悪化等による緊急事態も想定されます。

当会で把握している連絡先は本人又は自宅の電話等であり緊急時の連絡先は確認していません。

例えば名札の裏面に「本人以外の緊急連絡先」を記入し、持参してはどうでしょうか

【記載例】 緊急連絡先

	住所	仙台市〇〇区〇〇〇〇
	氏名	×× ××
	電話	090-××××-××××
緊急先	氏名	△△ △△
	電話	090-〇〇〇〇-〇〇〇〇



編集後記

文化財課長の提案にボランティアはどう呼応するか？ 多数の寄稿有難うございました。(西條)

◎ 年会費納入のお願い

ゆうちょ銀行 記号：18180

番号：5143491